

平成30年度パートナーシップのまちづくり推進会議
第3回会議結果報告書

会議の名称	パートナーシップのまちづくり推進会議第3回会議		
開催日時	平成31年3月12日(火) 午後7時00分～午後8時40分		
開催場所	茅野市ひとまちプラザ 3階集会室		
出席者	<p>【委員】 河西副会長、牛山副会長、長田副会長、義経委員、篠原委員、今井委員、野沢委員、山田委員、依田委員、八幡委員、小池委員、入倉委員、吉田委員、小澤委員、池上委員、鷹野原委員、田村委員、小山委員、宮下委員、榎原委員、北原委員、伊藤委員</p> <p>【市側】 柳平市長(会長)、樋口副市長、山田教育長</p> <p>【事務局】 田中パートナーシップのまちづくり推進課長、国枝コミュニティ推進係長、富澤コミュニティ推進係主任、五味コミュニティ推進係主任、内山ちの地区コミュニティセンター所長、五味宮川地区コミュニティセンター所長、吉田米沢地区コミュニティセンター所長、藤巻豊平地区コミュニティセンター所長代理、大蔵玉川地区コミュニティセンター所長、東城泉野地区コミュニティセンター所長、小池金沢地区コミュニティセンター所長、小平湖東地区コミュニティセンター所長、柿澤北山地区コミュニティセンター所長、鋤柄中大塩地区コミュニティセンター所長、牛山市民活動センター長、野明市民活動推進係長、武居福祉21推進担当、金井環境自治会担当、五味こども課長、両角情報政策係長、北沢文化芸術係長、田中男女共同参画担当兼国際交流推進担当</p>		
欠席者	嘉瀬委員、木川委員		
公開・非公開の別	公開	・ 非公開	傍聴者の数 0人
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
会長	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶 こんばんは。本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。昨年振り返りを行い、大きな共通課題の解決、若者の参画、職員のスキルアップと、3つのテーマについて重点的に取り組んでいただくことになりました。それぞれの取組について積極的に取組がなされていることに感謝申し上げます。 本日は主に共通課題の解決への取組結果について意見交換をしたいと思しますのでよろしく願いいたします。</p>		
事務局	<p>本日の会議事項ですが、2月13日に準備委員会を行い決めさせていただきましたのでよろしく願いいたします。それでは市長に進行をお願いしたいと思います。</p>		
会長	<p>1月に役員の入替えがあり、米沢地区の吉田さん、中大塩地区の小山さん、J.Cの北原さん、豊平地区の木川さんの4名の新しい委員に就任していただい</p>		

	<p>ています。新しい委員のみなさんには委嘱書を机上に置かせていただきました。新任の委員さんに一言ずついただきたいと思います。</p>
委員	<p>若者と言っていいかわかりませんが、この中では若い方だと思いますので、若い力として頑張っていきたいと思います。</p>
委員	<p>公民館長の立場としてお受けいたしました。よろしくお願いします。</p>
委員	<p>まだ内容を理解できていませんが、頑張ります。よろしくお願いします。</p>
	<p>3 会議事項</p> <p>(1) 大きな共通課題の解決に向けた取り組みについて</p> <p>① 取組方針の確認</p>
会長	<p>それでは会議事項に入ります。まず、(1)大きな共通課題の解決に向けた取り組みについて、①の取組方針の確認を事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>資料1をご覧ください。①として大きな共通課題の解決、②として若者の参画、③として市職員のスキルアップの3点について取り組んでいこうという話でした。①については分野別、運協それぞれの団体で昨年出た10個の課題についてどんな取り組みをするか検討して、年度末に報告を行うこととなっていました。②の若者の参画については、現在準備会のメンバーを集めて検討を進めているところです。③の市職員のスキルアップについては、全職員対象のパートナーシップのまちづくり研修を実施し、協働についての理解を深めました。また、職員30名ほどを対象にファシリテーション能力向上研修を行いました。</p> <p>本日は、分野別、運協それぞれの団体で取り組んできた結果の報告をしていただければと思います。</p>
	<p>② 取組の状況報告</p>
会長	<p>取組の状況報告について資料2に沿って進めていきたいと思います。それぞれの団体から2分程度、事務局職員から1分程度で発表してください。</p>
委員	<p>福祉21では資料のとおり、目的、情報の共有に取り組みました。計画を立てる中で、市民と一緒に、運協、区・自治会、健康福祉部会等に出向き、情報共有しながら進めました。</p>
武居福祉21 茅野事務局担当	<p>幹事会で取組事項を確認しながら進め、PDCAを回してきました。月1回幹事会をしながら協議を進めています。</p>
委員	<p>クリーンウォーク、上川アダプト等、市民団体、会社にも参加していただき、定例として活動をしています。市の担当課や清掃センターとも密に連絡を取り合い、良好な関係を築けています。金井係長にもこの場をお借りして感謝を申し上げます。</p>

	<p>パートナーシップも成熟期に入り、これ以上のパートナーシップはないと思っています。今後の取組については、紙のリサイクルを進めることで、ごみの減量を啓発していきたいと考えています。</p>
金井環境自治会担当	<p>美サイクル茅野主催のエコフェスタでは、幅広い年齢層に関心をもってもらうため、高校生にも呼びかけを行いました。取組項目②として、合意形成やコミュニケーションを大切にするため、市民の少数意見も大切に、くみ上げることが意識したアンケートを行い、環境への取組に対する方向性が出ています。</p>
委員	<p>目的の共有と認識合わせを行いました。市民と行政に考え方の違いがあり、喧々諤々とした話合いを行ってきました。</p> <p>幹事の間での認識合わせのため、気楽に話せる場として、事務局職員は除いた懇親会を行いました。また、広い連携を強化するため、幹事以外も含めた拡大幹事会を今後行いたいと思っています。</p>
五味こども課長	<p>第3次どんぐりプランの策定にあたって、もう一度立ち返って振り返りを行いました。子育て分野は行政だけではできない事がありますので、今後も協力していきたいと思います。</p>
副会長	<p>情報化推進ネットワーク、e ネットの2つの団体があり、情報化推進ネットワークは茅野市どっとネットと呼ばれています。情報化推進ネットワークで計画を立て、e ネットで実行する体制です。どちらの団体にも同じ人が掛け持ちで入っています。情報化推進ネットワークでは主に「茅野市どっとネット」というホームページの管理や市民向けICT講座等を行っています。</p> <p>現在メンバーの高齢化が課題となっており、若者の参画を促すため、現有メンバーが新しいメンバーを連れてくるということを行い、6、7人の新メンバーが加わって若返りができました。</p> <p>事務局ともお互いに活発に意見を言い合っており、良い関係が築けていると思います。</p>
両角情報政策係長	<p>昨年度、両団体を中心に茅野市ICT活用戦略という分野別計画を策定しました。本年度は茅野市ICT活用戦略の推進という大きな目的を両団体で共有し、それに向けて、公民協働事業、市民組織の再編等の課題について話し合うため、両団体と6回にわたり意見交換をしました。新年度については、新メンバー6人を加えて4月に組織再編を行い、課題検討を進めていく予定です。</p>
委員	<p>この地区では災害対策に力を入れています。幹事会、区長会で今までバラバラなところがありましたが、コミュニティ通信等で住民も含めて情報共有をしています。学校の建替えについても意識的に情報共有をしています。子育て部会やコミュニティスクールも巻き込んで、防災を軸に活動を進めていきたいと考えています。</p>
内山ちの地区コミュニティセンター所長	<p>目的の共有、丁寧な合意形成、情報共有として、各部会、区長会等と密に情報共有ができたと思います。</p>

委員	<p>情報共有のためには地域の人を知ることが大切だと考え、その機会を作りました。懇親会を開き、顔を突き合わせてコミュニケーションを図りました。</p> <p>また、情報共有のためにメリーパークに掲示板を設置しました。宮川は災害時の危険区域にありますので、防災部会を立ち上げ、17地区で防災に関するアンケートを行いました。防災については、目黒巻という防災対策のツールを作成し、17地区に配りました。長峰中学校でもこの目黒巻を採用して実践していただいています。茅野市の中で一番危険かもしれないということを、まずは知ってもらうことを運協の一つの柱として取り組んでいます。</p>
五味宮川地区 コミュニティ センター所長	<p>会長のおっしゃったとおり防災についてコツコツと取り組んでいます。あれをやってください、これをやってくださいでは難しいので、まずそれぞれが気づくことが大切であるため、気付きのきっかけづくりに取り組んでいます。</p>
委員	<p>米沢地区では目的共有を含めた情報共有を掲げ、前の会議から次の会議までのつながりを意識して、要点確認をしてスムーズな引継を行うこと、対等な立場で否定しないことをルールとして会議を進めました。</p> <p>今後の取組としては、防災マップを作成して配る予定となっています。</p>
吉田米沢地区 コミュニティ センター所長	<p>米沢も宮川に匹敵する危険個所を抱えているので防災マップを作成する等、防災対策について合意形成を進めています。</p>
藤巻木川委員 代理	<p>目的共有への取組として、防災訓練にあたってのリハーサルや事前協議を行いました。今後も防災訓練に重きを置いて活動していければと思います。</p>
副会長	<p>情報共有への取組として、特に会議の中で、事務局から、参加者が理解するまでしっかりと説明してもらった上で会議を進めるようにしています。</p> <p>また、若い方や子育て世代を引き入れていろいろな行事を行っていくため、子育て部会も協力して力を入れてくれています。社協ではただ高齢者の見守りを行うのではなく、元気な高齢者を作っていくという取り組みを行っていて、運協としても応援していきたいと考えています。</p>
大蔵玉川地区 コミュニティ センター所長	<p>推進会議で確認された10項目のほとんどができていますが、主なものとして目的の共有、情報共有、パートナーシップの理解を掲げて取組ました。「きずなプラン」の説明により、目的や情報共有ができるようになっていきます。しっかりと説明を行い、みな理解しながら進めるようにしています。</p>
委員	<p>泉野では、コミュニティだよりで情報共有をする他、区内の人員が少ないことから役員がいろいろな団体をかけもっており、各団体の情報を共有しやすい状態になっていると思います。</p>
東城泉野地区 コミュニティ センター所長	<p>兼務している役員が多いため、各団体の会議で他の会議の情報共有をする時間を設け、意識的に情報共有をしています。</p>

委員	金沢では、「金沢の未来を考える研究会」として、金沢の中長期的な課題を月1度集まって議論しています。様々な議題について話し合う中で、情報共有やコミュニケーションを図ることができています。史跡の看板やDMOによる古民家改修等、金沢の魅力を認識してPRすることができていて、さらに新しいアイテムの発掘を検討しています。地域の子が地元に戻ってきたいくなるような風土を作っていくことをテーマに、みんなで楽しく役ができるようにと考えています。
小池金沢地区 コミュニティ センター所長	古民家改修等は、大きな反響がありました。志のある人を広げていくことが課題だと感じています。
委員	自分の地域をもう一度見直してほしいと思っています。コミュニティだより等で発信していきたいです。 湖東では保健補導員が休止しているので、サービスセンターと協議していきたいと思っています。
小平湖東地区 コミュニティ センター所長	笹原でブランド化した甘酒の「御射鹿池の恵み」を公民館祭りで出店し、振る舞いました。地元の先駆けた取り組みをPRできました。 休止している保健補導員は、社協と協議して、区・自治会に関心をもってもらえるように啓発していきたいと考えています。
委員	運協会長として2年目に入りました。北山では情報共有をテーマとしました。北山地区では高齢化が進んでいますが、元気な高齢者が多く、元気な方は自分のことを高齢者だと思っていないこともあり、危機感がありません。 みなさんに北山地区の危機感を持ってもらうため、運協総会や社協総会でデータを示し、具体例で説明することで、自分の住む地域に危機感を持ってもらうように取組ました。 また、みんなが集まる機会として、茅野高校の演劇部による公演会を開催しました。
柿澤北山地区 コミュニティ センター所長	人口減少、高齢化に対して危機感が薄いため、現状と課題を理解するために情報共有をしています。 中央病院も、ほろ酔い座談会等地域に入り込んで連携してくれています。
委員	中大塩地区では、中大塩振り返りの会という活動をしています。区長会、自主防災会、公民館、環境自治会、子ども会、育成会、社会福祉協議会、福祉会、保健補導員、旧高齢者クラブの蓼科クラブ、等いろいろな団体があります。昨年11月29日に振り返りの会を開催し、各団体の活動をプロジェクターを使って発表し合いながら行うことで、情報共有を図りました。毎年夏に振り返りの会を行って情報共有することが定例化していますが、今後も振り返りと情報共有を続けていきたいと思えます。
鋤柄中大塩地区 コミュニティ	情報共有により、より関心が高まり活気づいています。また、情報共有のため、

センター所長	<p>コミュニティだよりを全戸配布しています。</p> <p>③ 質疑・提案</p>
会長	<p>各地区特色ある取組みと発表をありがとうございます。</p> <p>いろんな可能性を感じました。分野別の行動をいかに地域に降ろしていくか、が課題になるかと思えます。福祉21とのネットワークや美サイクル茅野のようにエコフェスタに高校生を呼び込むなど、より連携ができるといいと思えます。防災に関してもより子どもが入ってくるようになるといいと思えます。そんな観点も含めてご発言をお願いします。</p>
委員	<p>自分と違う人とつながっていきこう、という気運が高まっています。いろいろなイベントでも中高生の参加が増えています。地区の人口減少が問題になりますが、地区外からもつながりを作る事が、新しい取組につながると思えます。</p>
委員	<p>共有のために、お酒のある懇親会はいいと思えます。ただ、懇親会でもテーマをもってやる方がいいと思えます。</p>
五味宮川地区 コミュニティ センター所長	<p>防災への子供の参加ですが、長峰中学校で目黒巻による活動を行い、300人が一同に集まって参加しました。学校側からも防災部会に中学生を参加させてほしいと声をいただいていますし、これからより密な関係が期待できると考えています。</p>
教育長	<p>今まで、学習支援ボランティア等、地域に学校を助けていただけてきましたが、「子供が地域に入っていく」ということを大事にしたいと思えます。</p>
副会長	<p>東部中の生徒がボランティアをしたいということで、社協の事業に参加していただいています。好評になっています。今までは地域の活動で中学生の顔が見えることが少なかったが、最近は変わってきています。</p>
委員	<p>学校とコミュニティスクールが二重になってしまうと無駄が生じてしまいます。学校と地域がうまく連携して、二重組織にならないようにすることが課題になるかと思えます。</p>
会長	<p>北部中学が荒れたとき、民生児童委員のみなさんから、「俺たちにも相談してくれれば何か力になれることがあるかもしれないのに、相談してくれない」という話を聞きました。もっと気楽に学校の悩みは地域の悩みとして相談し合ったり、地域が役に立てるように協力体制ができればいいと考えています。</p> <p>地域に想いのある、絆のあるコミュニティスクールの運営を、教育長さん是非よろしく願いいたします。</p> <p>(2) 準備委員会要領について</p>
事務局	<p>資料3をご覧ください。昨年7月の推進会議において、推進会議は市民等と市で設置するという事で、準備段階から市民の皆さんに入っていていただいて現在</p>

検討していただいています。どのような運営をしていくか文章ではっきりさせておくために、要領案として作成いたしました。

資料3の要領案を読み上げにより説明

会長

現在、推進会議は準備会で事前協議して臨んでいます。スムーズな進行のため、準備会を正式に位置づけするため作成しました。ご意見等ありますか。

～異議なし～

(3) 来期推進会議の方向性について

事務局

3月末で現在の委員の任期が切れ、新たに委員の選任となります。人選を行うためには来期推進会議で何をするのか定める必要があります。具体的には新しい委員で決めることとなりますが、現段階である程度の方向性のイメージを共有できればと思っています。

今日ここで具体的な方向性を決定するのではなく、こんな感じで、というイメージを共有できればと思います。

資料4をご覧ください。準備会で議論した内容を言葉で堅苦しく言い表すのではなく、イメージとしての図を作成させていただきました。

平成29年度は振り返りを行いました。今後その続きをするのではなく、推進会議が全市的に協働やまちづくりを議論するプラットフォームとしてあるべき、というイメージを表しました。

現在ゆいわーくにおいてパートナーシップの拠点として理念等の啓発を行っています。ゆいわーくの活動方針は市、社協、市民が一体となって組織する運営委員会にて方針を決定しており、推進会議とかぶるところがあります。一度運営委員会との連携、推進会議のあり方を整理する必要があると考え、資料4のイメージ図のような方向で来期の推進会議を進めていきたいというのが準備委員会からの提案ですが、いかがでしょうか。

会長

ただいまイメージの説明をしていただきました。ここで決めるということではなく、次年度以降の課題としてご意見ください。次年度議論して必要であれば再来年から変えていくということになるかと思います。

新年度は基本的には先ほど決めた準備委員会を通して、この推進会議の中で進めていくということになるかと思います。事務局からの話のように将来を展望して検討していかなければいけないと思います。今日は皆さんから率直な意見をいただいて来年度の課題としていただきたいと思います。

副会長

準備委員会での検討をうまく図にいただいていると思います。

会長

今日はイメージを示したということでご了承していただいたということですのでよろしいですね。

～異議なし～

(4) その他

会長

それでは、全体を通して何かご発言があったらどうぞ

副会長

一言市長にお礼を述べたいと思います。昨年の課題で職員のスキルアップということがありましたが、今年は職員が各地域に出て来ていただいているようで、変化がみられます。田中課長は福祉推進委員を、牛山センター長は環境自治会と、玉川の中でも職員の活躍が見られます。所長をはじめとして職員がパートナーシップに取り組んできていることに、市長にお礼を申し上げます。

会長

今年を取組を聞き、私も感謝します。更なる可能性も見えますので是非形にしていっていただきたいと思います。

事務局

本日はありがとうございました。私の個人的な感想ですが、平成29年度はあれも悪い、これも悪いとお叱りをいただきましたが、本日はお褒めの言葉をいただき、事務局として大変嬉しく思っています。

みなさま2年間お勤めお疲れ様でした。

本日はこれにて閉会にしたいと思います。ありがとうございました。

5 閉会（午後8時40分）